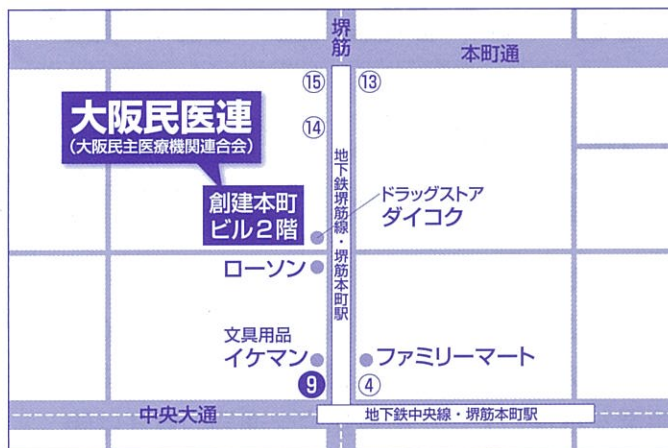


1日で1億円を儲ける 地下鉄/を売らんといて!

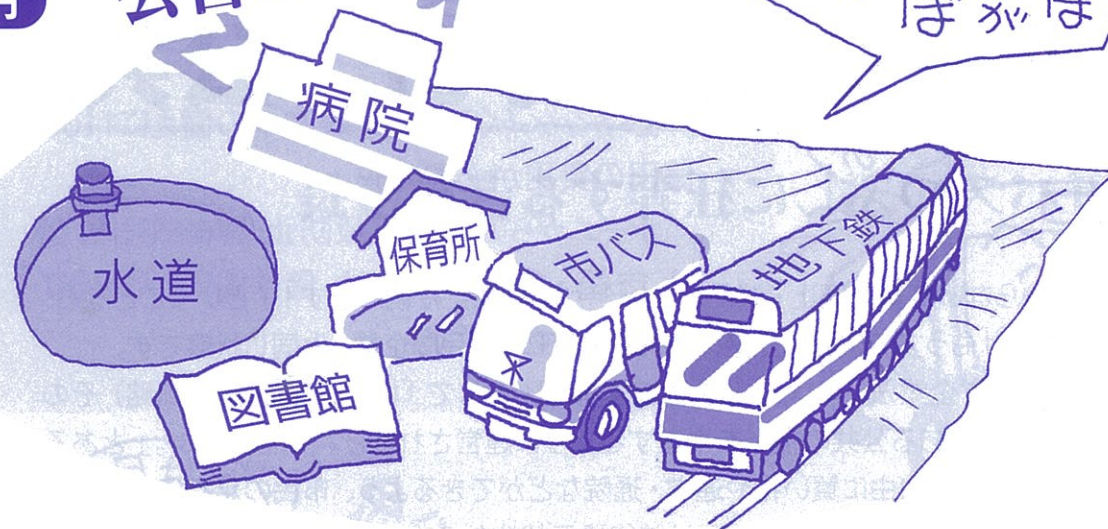
日時 2016年4月16日(土)
午後1時30分～(開場午後1時)
場所 大阪民医連会議室 資料代 300円



地下鉄中央線又は堺筋線の堺筋本町駅下車⑨番出口を上がって、すぐ左手を向いていただくと、15m先にローソンが見えます。ローソンを左に曲がったところにあるダイコクの隣のビルです。

(注意：大阪民医連は堺筋本町駅が最寄り駅です。本町駅と間違わないように注意してください)

大阪市営(地下鉄・バス)の
民営化ストップ!
公営としての発展を!



市営地下鉄は、348億円も黒字です(2014年度)。全国の地下鉄で初めて累積赤字も解消し、いよいよ市民に還元できる状態になっています。だから、料金値下げやトイレ改修ができたのです。

赤字を理由に路線が廃止・減便された市バスは、地下鉄の黒字で応援すれば市民の足を守れます。

こんな超優良企業を「民営化」するのは何のためでしょうか?

主催：交通権の確立・大阪市営交通を守り発展させる会(略称「大阪市営交通の会」)

後援：大阪市をよくする会

大阪市対策連絡会議・大阪生活と健康守る会連合会・大阪労連大阪市地区協議会・市営のコミュニティバスをつくろう大阪市民ネットワーク・自交総連大阪地方連合会・大阪市交通の会・大阪商工団体連合会・全日本年金者組合府本部・障害者(児)を守る全大阪連絡協議会・私鉄連帯する会・大阪自治労連

連絡先 全日本年金者組合大阪府本部 大阪市北区天神橋1丁目13番15号大阪グリーン会館6階 TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746 E:mail o-nenkin@diamond.brorth.com

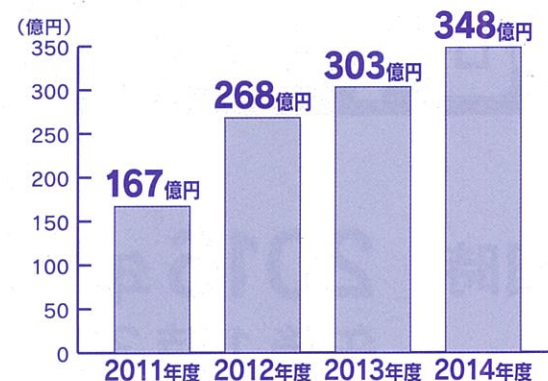
地下鉄は毎年大きな黒字です！

サービス向上、バス事業を支援する体力は十分あります

2011 年度	167 億円
2012 年度	268 億円
2013 年度	303 億円
2014 年度	348 億円

左右の図表のように、市営地下鉄は毎年黒字額が増え続け、今や一日で1億円の利益を上げるといふ優良企業になっています。

この利益を運賃の値下げに使ったり、転落防止柵の設置に回すのは当たり前です。ましてやトイレの改修は橋下前市長でなくても当然できたことでした。



市民の足を奪い、公共の福祉はほったらかし

市バスつぶしに狂奔する吉村市長

「儲からない路線は廃止・減便だ!」「儲かる路線だけ続けます!」ということなら、市営バスはもうすでに公営企業の精神を放棄して「民間企業」と同じ状態です。

「地方公営企業法」には、「経営の基本原則」として「地方公営企業は、(略)その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。」とあるように、市民が自由に買い物や通学・通院などができるよう、市民の足を確保することが本来の仕事です。今の交通局は法律違反状態なのです。

橋下前市長が押し付けた「違法状態」によって、大阪市内のあちこちで「交通難民」が生まれるというかつてない被害が生まれています。

いま、その実態を把握して、改善をもとめとりくみが重要となっています。

「民営化」推進のため、無理やり借金を押し付けた大阪市

大規模開発をすすめたかつての大阪市政の大失敗の一つ、オスカードリーム（住之江車庫跡地の土地信託事業）は、8600㎡という土地を手放したあげくに、283億円も支払う羽目になりました。この事業を推進してきた市幹部や交通局の責任は問わず、黒字経営がもともと厳しい市バス事業にすべての借金を背負わせ、結局は「民営化しかない!」という主張に引きずり込んでいます。

公営企業としての市バスの道を探る議論が今、求められます。